

子ども・若者 自分の力でのびていけ “心豊かにたくましく” ～地域みんなが応援隊～



青少年しまね

青少年育成島根県民会議
〒690-8501
松江市殿町1 県庁青少年家庭課内
TEL: (0852)-22-6255
FAX: (0852)-22-6045
HP: <http://www.shimane-youth.gr.jp>
E-mail: nobinobi@shimane-youth.gr.jp
Facebook: 「青少年育成島根県民会議」

No. 98 平成 29 年 (2017) 3 月

5/12 県民会議表彰 (P7)



受賞おめでとうございます



総会・研修会

9/27 少年の主張島根県大会 (P4-5)



少年の主張島根県大会
島根県少年弁論大会



「恩送り」していますか？

10/30 しまニッコ! 県民運動キャンペーン
(にっころ10周年記念イベント)



オリジナル缶バッジづくりは大盛況!

11/1 教育の日フォーラム 2016



益田市立道川小学校のみなさんによる太鼓演奏

11/18 しまニッコ! 県民運動サポーターズ
登録700名達成 (P6)



10/14 定時制通信制生徒
生活体験発表会

最優秀賞の
県民会議会長賞を
受賞!



発表原稿は
県民会議の
ホームページで

みんなで声かけ
明るいまちづくり

12/10 12/11 県青少年育成アドバイザー養成講座



心あたたまる
言葉の数々...

12/3 結成50周年記念大会 (P3)



12/26 「ここのは大賞」表彰式



地域で頑張る若者たちの熱い話を聞きました!

PLAY BACK 2016



青少年育成島根県民会議のシンボルマークができました!
吾郷花純さん(大学1年)の作品です。中央の黄色い球は、宝物である子ども、青色は、子どもを育む社会の基盤、緑色は、保護者・家庭、ピンクは、学校・地域などの周囲の大人です。ほおずきのように、子どもたちがみんなに大事に育てられていること、いつか守られている葉が開き、社会に出て行くことを表現しています。



青少年育成島根県民会議結成50周年に当たって…

子ども・若者に「こころ」と「目」を向けましょう!

青少年育成島根県民会議会長 吉長 義親

次代を担う青少年が心身共に健やかに成長することを願って、すべての県民が互いに力を合わせて展開してきました青少年育成県民運動が、このほど50周年を迎えました。これまで地道にこの運動に取り組んで青少年育成の意識の浸透、健全育成や非行防止などに成果をあげてこられた関係の皆様には敬意と謝意を表します。

振り返りますと、日本が敗戦後の廃墟から立ち上がり混乱の時期を経て、急速な経済成長を遂げつつある中で、増え続けている青少年問題に危機感を抱いた国は、昭和41年5月青少年育成国民会議を発足させ、全国に青少年育成都道府県民会議結成を働きかけ、全ての市町村に青少年育成市町村民会議の設立を企図し、関係機関・団体と共にこの問題に対処しました。

島根県でも昭和41年9月、県内のすべての青少年育成関係機関・団体の参画を得て、青少年育成島根県民会議が創立され発足しました。次いで、県民会議の働きかけで昭和44年4月の益田市民会議を皮切りに県下59市町村すべてに市町村民会議が設立され、爾来島根県民会議と一体となって県内の青少年育成運動が展開できる態勢が確立され活動を展開して参りました。

さて、この50年、時代の急激な変化とともに、日本の社会や自然も極端な変化の様相を示し、青少年を取り巻く育成環境、人の価値観も大きく変わり、大人の間力さえも衰えて来たように思います。殊に青少年の育ち方や生き方に、異常とも思える姿が認識されます。また青少年自身の志向も大きく変わっていると言われていています。例えば、共同体のつながりの希薄化、「宿命的」という諦めの人生観の広がり、幸福感に溢れ努力に空しさを抱く姿などがそれだと説かれています。世の中のすべての分野で、今までの体制ややり方が通用しにくくなり、大きな変革が必要になってきている訳です。つまり、青少年育成問題は、行政はもとより、家庭、学校、職場、地域社会が一体となって取り組んでいくことが肝要であり、青少年育成県民運動の役割はより一層重要となってきました。

「子どもは社会を写す鏡」と言われているように、豊かな歴史・伝統・風土や心豊かに生きる大人の姿の反映として、島根の青少年は、文化芸術活動にスポーツに或いはいろいろの場面での自分の意見や体験の主張、そしてボランティア活動などで素晴らし

い姿を見せてくれています。しかし、問題や気になる姿があることも事実であります。それらは、大人社会のあり方に対する子ども・若者の警鐘であると受け止めねばなりません。

これからの時代を背負う青少年の生きる時代は、全人類的な難題・課題・問題が山積していると予測されています。その時代を乗り越えて夢を持って前向きに歩むことの出来る英知と気力、体力を持った青少年の育成が私共の重要な課題であると考えます。

そのためには、大人も青少年も共に助け合い、心通わせて考えを出し合い、智恵をしぼり、関係機関・団体と市町村民会議や心を寄せて頂く県民の皆様と共に運動を展開していくことが必定と考えます。

そこでこのたび、スローガンと運動理念を確認し、シンボルマークも創作し、次への新たな出発を致します。

・スローガン

「子ども若者 自分の力で伸びていけ “心豊かにたくましく” ~地域みんなが応援隊~」

・運動の理念

1. 青少年が主体的に活動できる場を提供し、自発性や創造性を尊重しながら青少年の自主性や社会性を育みます。
2. 市町村民会議、公民館や学校、青少年育成機関・団体と連携し、青少年を応援する地域づくりや、人材育成、明るく会話の豊かな家庭づくりを図ります。
3. 青少年育成運動の広報・啓発を図り、広く県民の理解と運動への参画を推進します。

青少年育成県民運動の展開は、大人の皆さんが、子ども若者に「こころ」と「目」を向けていただくことからだと確信しています。

なお、本会の活動・運動は、県民の皆様への会員登録による会費によって行っておりますが、近年資金が思うように任せず困惑しております。何卒ご協力賜りますようご懇願申し上げます。

どうか、全ての県民の皆様が力を合わせ、これからの青少年育成島根県民運動を推進していただきますよう重ねて切にお願い申し上げます。

青少年育成島根県民会議 結成 50 周年記念大会

平成28年12月3日(土) くにびきメッセ 小ホール 参加者：230名

結成50周年を迎えるにあたり記念大会を開催し、青少年育成関係者や県民の皆さんと新しい時代に
 応じた青少年育成のあり方を考え、新たな運動を推進していく契機としました。

プログラム

- ・オープニングパフォーマンス
- ・会長あいさつ、来賓祝辞
- ・シンボルマークの発表、表彰
- ・少年の主張意見発表
- ・パネルディスカッション
- ・大会宣言



開星中学校・高等学校コーラス部

大会宣言の発表

現代の青少年を取り巻く社会環境の複雑化・深刻化を訴え、県民会議として何をすべきか?どうあるべきか?といった想いがこめられた大会宣言が、青少年代表、大人代表、会場の皆さんと一緒に読み上げられました。



青少年育成島根県民会議結成 50周年記念大会 大会宣言

笑顔あふれる子ども、豊かな心でたくましく成長する少年、自立社会の一員として責任と役割を果たす青年、島根の将来を担う彼らの姿を思い浮かべ、生きる姿勢を自分自身に問いかける大人。

青少年の健やかな成長は県民すべての願いであり、その実現のためには、お互いに助け合い、いたわり合い、支え合って、社会全体で取り組んでいかなければなりません。

私たちは、結成50年の今年を次のステップへの分岐点として位置付けました。来た道を振り返り、今を見つめる中で、今の取り組みを拡充させていく、ひたすら前進するしかないとの思いに至ったからです。

青少年を取り巻く環境はすさまじいスピードで複雑化・深刻化しており、「子どもは社会を映す鏡」と言われる、その大人社会そのものが多くの問題を抱えています。立ち止まることは許されず、ただひたすらに全力で立ち向かうしかありません。

私たちは、この共通の思いに立ち、家庭・学校・地域社会・行政が一体となった県民総参加の取り組みをさらに力強く前進させるため、次のことを宣言します。

- 1 青少年が主体的に活動できる場を提供し、自発性や創造性を尊重しながら青少年の自主性や社会性を育みます。
- 1 市町村民会議、公民館や学校、青少年育成機関・団体等と連携し、青少年を応援する地域づくりや人材育成、明るく会話の豊かな家庭づくりを図ります。
- 1 青少年育成運動の広報・啓発を図り、広く県民の理解と運動への参画を推進します。

平成28年12月3日

オープニングパフォーマンス

開星中学校・高等学校コーラス部によるアカペラパフォーマンスからスタートしました。まるでプロのアカペラを思わせるような躍動感あるパフォーマンスを披露してくださいました。



シンボルマーク表彰

結成50周年を迎えるにあたり、シンボルマークを募集しました。最優秀賞に吾郷花純さん(大学1年)が選ばれ、表彰されました。優秀賞を受賞した濱崎紀華さん(高校2年)、武田寧々さん(高校1年)もあわせて表彰されました。



少年の主張意見発表

平成28年度「少年の主張島根県大会」で県知事賞を受賞した林英里さん(中学2年)の発表が行われました。堂々とした発表ぶりには驚きです!!



パネルディスカッション

『青少年ファーストの青少年育成をめざして～しまねの若者が地域を語る～』をテーマに行われたパネルディスカッションでは、兵庫県猪名川町青少年健全育成推進会議の乾和範さんをゲストコメンテーターに迎え、県内の青少年のみなさんと活かな意見を交わしました。



(左から岩本悠さん、出雲ひかるさん、大羽智之さん、下山嘉真さん、乾和範さん)
 (教育魅力化特命官)(とよかわっしょい!)(大田Joいんつり)(たまゆメンバーズくらぶ)

平成28年度 少年の主張島根県大会

平成28年度
少年の主張
島根県大会
第45回 島根県少年弁論大会

中学生の
発表は、**つなぐ傘**、**世帯プラン**、**父の姿**、**日常の中に**、**壁の向こうに**、**ひとつのことばで**、**夢のパワー**、**大切なものを守るために**、**両手に伝わる重みから**、**言葉の大切さ**、**命の授業**、**本が教えてくれたこと**、**伝えたいこと**、**十人十色**、**私の夢**、**母への理解**、**チャレンジャー**

島根県大会から選出された17名の中学生が、家庭、学校、地域での学びの中心で、日頃考えていることや体験を発表します。たくさんの方々の応援を期待しています!!

日時 平成28年 9月27日(火) 10:30~15:30
会場 雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール
〒699-1311 雲南市木次町東方55番地 電話 0654-42-1155

県内13ブロックで開催された市郡大会から選出された17名の代表によって平成28年度「少年の主張島根県大会」を開催しました。

島根県知事賞1名、島根県教育委員会教育長賞1名、島根県警察本部長賞1名、青少年育成島根県民会議会長賞1名、審査員特別賞2名、優秀賞11名を選出し、島根県知事賞受賞者を県代表として「少年の主張全国大会」に推薦しました。

平成28年9月27日(火) 雲南市木次経済文化会館 チェリヴァホール

今回の発表内容は、「家族の姿」「将来の夢」「自身の体験」からのテーマがほとんどでした。そのことは、中学生自身が身の回りの出来事に心を注いだり、身近な人に生きる手本を求めたりしている姿であり、自己を見つめて生きようとしている現われであると感じました。また、聴衆の雲南市内中学校の生徒の皆さんが実に立派な姿で聞いていて感心しました。ご出席の大人の方々も感銘を受けておいででした。

青少年育成島根県民会議 会長 吉長 義親



今回の発表では、導入の部分で言葉の問題を取り上げているものが何点か見受けられました。学校現場では、やはり言葉の問題は大きいということを考えさせられました。また、発表者の3分の2は3年生であり、将来の夢、希望、就職についての発表がありましたが、きちんと将来を見据えて発表されているのを聞いてとても頼もしく感じました。17名の皆さんはとても落ち着いてはっきりと発表され、審査員からはとても素晴らしいという評価がありました。

審査員長 磯田 謙一



発表者17名と審査員・来賓・主催者による集合写真



雲南市立木次中学校吹奏楽部によるアトラクション

- | | | |
|------|------------------|-------|
| 審査員長 | 島根県子ども会連合会会長 | 磯田 謙一 |
| 審査員 | 山陰中央新報社特別論説委員 | 前田 幸二 |
| 審査員 | 島根県警察本部少年女性対策課主査 | 三浦 洋子 |
| 審査員 | 出雲教育事務所指導主事 | 日野 久美 |
| 審査員 | 雲南市青少年健全育成協議会副会長 | 太田多美子 |
| 審査員 | 雲南市小学校長会長 | 田中 晴久 |
| 審査員 | 雲南市PTA連合会母親委員長 | 谷戸 京子 |

賞名	演題	学校名	学年	氏名
島根県知事賞	つなぐ傘	松江市立第一中学校	2	林 英里
島根県教育委員会教育長賞	世帯プラン	津和野町立津和野中学校	3	大羽 世倅
島根県警察本部長賞	父の姿	出雲市立平田中学校	3	野津 僚祐
青少年育成島根県民会議会長賞	日常の中に	雲南市立三刀屋中学校	3	錦織 歩香
審査員特別賞	壁の向こうに	益田市立西南中学校	3	篠原由美子
〃	ひとつのことばで	江津市立江津中学校	1	土井菜々子
優秀賞	夢のパワー	奥出雲町立仁多中学校	3	檀田 鈴音
〃	大切なものを守るために	川本町立川本中学校	3	上坂 優菜
〃	両手に伝わる重みから	松江市立湖南中学校	3	細田 沙雪
〃	言葉の大切さ	安来市立第一中学校	3	山崎 光翔
〃	命の授業	浜田市立第三中学校	3	田中 彩絵
〃	本が教えてくれたこと	飯南町立赤来中学校	2	堀越 実里
〃	伝えたいこと	出雲北陵中学校	3	野一色乃愛
〃	十人十色	大田市立大田西中学校	2	山本 彩花
〃	私の夢	隠岐の島町立五箇中学校	3	澤尾 美寧
〃	母への理解	益田市立中西中学校	3	永尾 心風
〃	チャレンジャー	雲南市立大東中学校	1	永井 宏樹

島根県知事賞

「つなぐ傘」

松江市立第一中学校 2年

はやし えり
林 英里 さん



11月8日(日)に
東京で行われた全国大会に
中国・四国ブロック代表と
して出場し、奨励賞を受賞!

「あっ、雨だ。」

突然の雨で傘を持っていないとき、あなたは どうしますか。濡れて帰りますか。それとも友達の傘に入りますか。そんなとき、近くに無料貸し出し傘があったら助かりますよね。

私も貸し出し傘を借りたことがあります。突然の土砂降りで見失っていた時、近くに無料の貸し出し傘があったので濡れずに帰ることができました。次の日、傘を返そうと思い、改めて松江駅へ行くと、借りた時より本数が少なくなっていました。それをきっかけになんとなく気になって見ていると、晴れの日が続いても傘の本数がいっこうに戻らないことに気が付きました。

ちょうどそのころ、女子高生が始めた無料貸し出し傘の話題を新聞記事で読みました。お年寄りが雨でずぶ濡れになった姿を見かけたことがきっかけで、その女子高生は「愛の傘」という貸し出し傘を始めたそうです。ところが「お戻ください。」と書いてあったにもかかわらず、二百本あった傘が一ヶ月たったところで九割戻らず、ついに今年、その活動を終えるという話題でした。

ではそもそも、貸し出し傘の傘はどこから来ているのでしょうか。例えば、松江市の無料貸し出し傘「だんだんシェア傘」は、松江に観光に来られた方も、地元の人でも「雨の多い松江で雨を楽しんでもらおう」と、地域の人たちの一口三千元以上の寄付金で成り立っています。また、使わなくなった傘を貸し出し用として再利用する仕組みもあるそうです。私たち松江一中生徒会でも、持ち主が見つからない傘を「こころほっとアンブレラ」として貸し出し傘に再利用しています。

「濡れないように」「風邪をひかないように」と気遣う人たちの思いで貸し出し傘はできているのです。人の思いがこもった

傘は借りる人の手に、借りた人は、次借りる人が濡れないようにと思って返し、そしてまた次の人へとつながっていくのが本来の在り方です。

しかし、今はどうでしょう。借りた人の中に「返すのが面倒」「自分一人ぐらい返さなくても別に」という気持ちがあるせいでしょうか。一中の貸し出し傘も、約半数が返ってきていないそうです。

貸し出し傘は貸しているのだから返さなくてもいいわけではありません。優しい心から始まったこの仕組みを、申請書や契約書を書かなければ貸し出しできないようにはしたくありません。

日本には、昔から「恩送り」という言葉があります。それは、もらった恩を受けた人に返すのではなく、第三者へと恩を送ることを言います。私は祖母からこの言葉を聞きました。テスト前なのに勉強にやる気が全くわかなかった時

「英里ちゃん、勉強は自分のためだけにするんじゃないんだよ。英里ちゃん人が人から教えてもらって勉強したことは、やがて世の中の人の役に立つんだよ。」と。してもらって嬉しかったこと、助かったことだけでなく、自分が身につけたことを社会に返すのも「恩送り」の一つなのだとその時はとさせられました。

「たかが傘、されど傘」。貸し出し傘の現状は、今の社会を映す鏡のようなのだと私は思います。「自分さえ良ければいい」という利己的な考えから、他の人のことを思いやるという気持ちが薄れてきていませんか? 傘を返すという小さな行いが次の人への「恩送り」となり、そうした気持ちの連鎖が温かい社会を作ることにつながると思います。私も自分がもらったものを多くの人に返していけるようなそんな生き方をしたいと思っています。あなたは、「恩送り」をしていますか?

県下最大のソリューション
ネットワークで、皆様の
ビジネスを+にクリエイト

CreA+

Credo
創る、その先へ

CreAplus inc. ■ 本社
〒690-0048 島根県松江市西嫁島1-5-17
株式会社 クリアプラス TEL 0852 21 3476 / FAX 0852 21 3866

その先の“いいね”を目指して——

印刷会社 黒潮社

PRINT COMPANY KOKUCHOSHA

〒690-0841 松江市向島町182-3
TEL.0852-21-3409 FAX.0852-21-3554
E-mail koku@k-pri.co.jp

印刷 黒潮社 検索

しまニッコ! サポーターズインタビュー

私たちがサポーターズとして活動しています!



「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」とは?

大人と子ども、大人同士、子ども同士が、笑顔で声をかけ合うことで、ふれあいの力を培い、絆を深め、手を取り合って生きるための県民運動です。

インタビュー 内容

- ①しまニッコ! サポーターズに登録しようと思ったきっかけは何ですか?
- ②実際にどのような活動や取り組みをしていますか?
- ③活動を始めて良かったことや気づいたことは何ですか?
- ④今後どのような活動をしていきたいですか?

- ①“あいさつをする力”を育てることを園の重点目標にあげています。職員、子ども、保護者が進んであいさつをし、自分の生活をよりよくしていくため、人と関わる力を高めるためにおこないました。
- ②毎月のメディアコントロールウィークのうち、1日は年長児が「おはよう」のたすきと「しまニッコ!」缶バッジをつけ、昇降口に当番として立ち、あいさつをおこないます。残りの日は職員がたすきをつけておこないます。
- ③職員が元気なあいさつを心がけるようになりました。子どもも職員も気持ちのよいあいさつができるようになってきました。
- ④今後もメディアコントロールウィークに継続して「しまニッコ! 県民運動」に取り組み、あいさつへの意識を高めていきたいと思っています。

(松江市立母衣幼稚園)

- ①青少年育成アドバイザーである団長に教えていただきました。
- ②練習や大会の時にバッジを着けてあいさつをしています。
- ③笑顔であいさつする良いきっかけとなりました。
- ④今後も、大会や合宿の時にバッジを着けて声かけ運動をしたいです。

(松江市 八雲バレーボールスポーツ少年団)



- ①「しまニッコ! 県民運動」の紹介を受け、趣旨に賛同して登録しました。
- ②毎日、職員が笑顔で地域の皆さんと交流するよう意識向上に努めています。毎月2回、地元の幼稚園と協同であいさつ運動をし、「あいさつ+笑顔」でも自分自身も笑顔になり、元気に仕事ができるように心がけています。
- ③幼稚園の子どもたちが毎朝バッジを見て話しかけてくれることがとても嬉しいです。小学生も名札に付けているバッジに興味を示してくれ、話すきっかけになっています。
- ④地域の皆さんとコミュニケーションに、笑顔は欠かせません。今後も活動を毎日行っていきたいです。幼稚園の子どもたち、先生、保護者を含めた活動になるように呼びかけていきたいです。

(出雲市 鷹巣コミュニティーセンター)

「しまニッコ! (スマイル声かけ) 県民運動」サポーターズ募集中!!

青少年育成島根県民会議では、「しまニッコ! 県民運動」をさらに県内各地に広めるための推進役を担っていただくサポーターを募集しています。青少年関係機関・団体、学校や事業所単位での登録もお待ちしています! サポーターにご登録いただいた方には「しまニッコ! サポーターズバッジ」をお渡ししています。詳しくはホームページをご覧ください!



しまニッコ!

検索

印刷の情報は何でも
提供いたします



明和印刷有限会社

〒690-0822 松江市下東川津町61-5
Tel.0852-22-3196 Fax.0852-22-3306
E-mail:meiwa@ms1.megaegg.ne.jp

受賞おめでとうございます!!

青少年及び青少年育成功労者等表彰

平成28年5月12日(木) 島根県庁講堂「青少年育成島根県民会議総会」で表彰



県民会議キャラクター
ハビネス



■青少年の部

- ・大津 裕貴さん(松江市)
- ・十倉 朋之さん(浜田市)

■青少年団体・グループの部

- ・川津ふる里太鼓(松江市)
- ・川津キッズチアリーディングクラブ・スパークルズ(松江市)
- ・神西Jrアスリートクラブ(出雲市)
- ・木積スポーツ少年団(美郷町)

■青少年指導者の部

- | | |
|---------------|---------------|
| ・白根 保典さん(松江市) | ・福田 賢治さん(出雲市) |
| ・松浦 克司さん(松江市) | ・常松 士郎さん(出雲市) |
| ・土江 耕治さん(松江市) | ・岡本 譲一さん(益田市) |
| ・福田みよ糸さん(松江市) | ・森野 紀さん(江津市) |
| ・岡 賑悟さん(松江市) | ・内田 慶子さん(雲南市) |
| ・林 芳臣さん(松江市) | ・朝日 照男さん(雲南市) |
| | ・林 栄毅さん(美郷町) |



青少年育成功労者知事感謝状

平成28年5月24日(木) 島根県庁知事室で表彰

■青少年団体・グループの部

- ・島根県立松江農林高等学校野球部(松江市)
- ・島根県立大学BBSサークル(浜田市)

■青少年指導者の部

- ・藤原 整二さん(奥出雲町)

青少年地域活動チャレンジ支援事業助成団体 活動紹介

■八雲ゆう人会(松江市)～親子で作ろう!こいのぼり～

「こいのぼり」で町づくりをテーマに、八雲町で楽しいことを創出していくことを目標に活動している団体です。白いこいのぼりの生地に、親子で色塗りをし、「八雲ゆう遊こいのぼり」のイベントで掲揚するこいのぼりを作成しました。



■伊野地区青少年育成協議会(出雲市)～伊野地区若者チャレンジプロジェクト～

10～20代の若者50人で構成する団体です。自分たちの暮らす地域の若者が楽しめる事業を若者自らの力で創造し、地域全体の活性化へとつながることを目標に活動しています。地区文化祭への出店・販売や団体のPRを行い、若者の団結を深めるとともに、「お化け屋敷脱出大作戦」を開催しました。

■NPO法人 浜田おやこ劇場(浜田市)

～青少年や地域のおとなが共に感動体験できる場づくり～

文化にふれる機会の少ない青少年や地域の方に、本物の生の舞台を届け、共に感動体験できる場を提供しています。小学5年生から中学3年生までの有志で構成されたK R K(高学年例会企画部)により、子どもたち自身が舞台劇上演のための企画、準備、宣伝活動、上演当日の運営を行いました。



「ことのは」とは…

子育てや子ども、家族に関する楽しさやうれしさ、感動などをきらりと光るひとことで表した言葉のことです。今年度は、全国から2,135通の応募がありました。

県子ども・子育て支援課が行う「ことのは大賞」事業を共催し、県民会議会長賞を授与しています。平成28年12月26日に県庁知事室で表彰式がおこなわれました。

■ 県民会議会長賞受賞作品



・一般の部（島根県 岩本 彩 さん）
「息子とお散歩 知らない人が知り合いに 息子が つなぐ人と人。」



・こっころの部（島根県 村尾 仲哉 さん）
「かぞくしゃしん どこからみても オレに わらいかけてくる」

イラスト：伊藤 巴さん

会員募集

青少年健全育成活動にあな
たのご協力をお願いします!!

■ 会員

青少年育成活動を支援し、推進していただける団体・企業・個人の方
年会費 5,000円（一口以上）

■ 賛助会員

青少年育成活動に関心はあるが、参加できる機会が少ないため、資金面で
支援をいただける団体・企業・個人の方

年会費・団体・企業：5,000円（一口以上）

・個人：1,000円（一口以上）

青少年育成島根県民会議では、次世代を担う青少年を育てる運動を広げるために、県民総ぐるみの青少年健全育成活動を展開しています。この活動は全て会員・賛助会員のみなさまの会費により運営されています。ぜひとも会員・賛助会員としてのご支援、ご協力をお願い致します。

青少年育成島根県民会議

検索